

# 校内研修計画書

1 学校名 高山村立高山中学校

2 校長氏名 中澤 昌宏

3 研修主任氏名 竹和誠一郎

4 平成30年度の研修について

(1) 主題 「生徒が主体的に学ぶ授業づくり」

～生徒が進んで追究し、共に解決する課題設定の工夫を通して～

(2) 成果と課題

昨年度の成果としては、生徒が主体的に学ぶための課題設定とは、生徒の気づきを活かしたり、課題に必要感を持たせたり、生徒に課題を取り組ませる中で責任を持たせたりといったことが有効であることが示された。課題としては、単元計画を考える段階から、生徒の気づき、必要感などを前提にした一歩踏み込んだ課題設定ができないかといった意見が出された。そして、有効な課題設定により、「つかむ」「追究する」「まとめる」という一連の活動になる授業の構築が必要であると考えられる。

5 令和元年度の研修計画

(1) 分野 学習指導

(2) 主題 「生徒が主体的に学ぶ授業づくり」

～生徒が進んで追究し、共に解決する課題設定の工夫を通して～

(3) 主題設定の理由

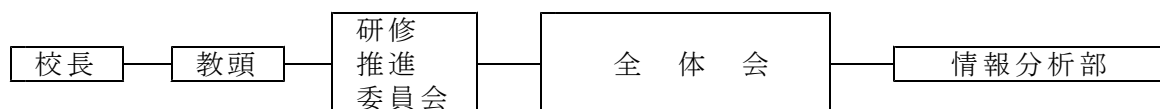
生徒が主体的に学ぶには、生徒自らの疑問、課題に対して協同的にその解決を図ることが重要と考える。昨年度は、生徒が主体的に学ぶための課題設定に視点をおいて研修を行った。成果としては、生徒の気づきを活かしたり、課題に必要感を持たせたりといったことが有効であると示された。しかし、昨年度はそれを課題設定により、まとめで生徒の言葉でまとめるところまで持って行けず、さらに一歩踏み込んだ課題設定を探る余地があるとの指摘もあった。今年度は、授業のねらいを達成させていく課題設定と、授業者の関わり方も合わせて研究できればと考える。

そこで、今年度も研修主題、サブテーマは昨年と同様にし、もう一歩踏み込んで深く研究することにより、生徒が主体的に学習を深めていく授業づくりを目指したい。

(4) 研修内容及び方法

- ・生徒が主体的に学ぶ授業づくりを目指すために、生徒が進んで追究し、共に解決する課題設定の工夫を通して授業改善についての研究を深め、生徒の変容により検証する。
- ・アンケートを年度初めと終わりに実施し、生徒の主体性の変容を検証する。

(5) 研究組織



(6) 年間計画

4月	・昨年度の研修の振り返りと今後の展望（全体会） ・研修の方向性の確認（全体会）
5月	・研修組織の確認（全体会） ・一人一授業の確認（全体会）
7月	・一人一授業の開始、計画訪問授業の確認
9月	・指導主事計画訪問
2学期	・一人一授業の実施 ・ICT研修
3学期	・研修の成果と課題の確認 ・研究紀要作成 ・研修の発表 ・次年度の研修へ向けた検討